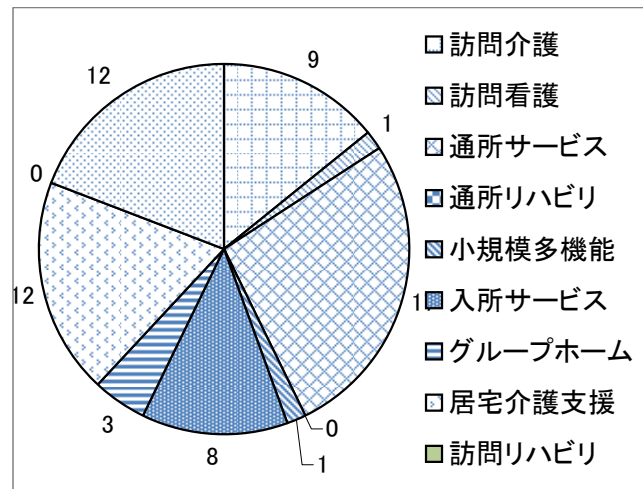


H26年度東近江市介護サービス事業者協議会全体研修会 アンケート集計結果

12/2 回答者51人(回答率59%)

1.あなたの従事している事業についてお答えください。

訪問介護	9人
訪問看護	1人
通所サービス	17人
通所リハビリ	0人
小規模多機能	1人
入所サービス	8人
グループホーム	3人
居宅介護支援	12人
訪問リハビリ	0人
その他	12人



2.今回の研修であなたが感じられたこと、学ばれたことを教えてください。

- 1 先生の考え方が分かる講演でした。ネット情報より分かりやすかった。
- 2 制度改正の動向や人材確保のための取組状況などについて分かり易くお話をいただくことができた。
- 3 今の問題や今後の方向性がよくわかった。
- 4 難しかったが勉強になった。
- 5 現状のままではダメ、独自の考え方の中で経営戦略が必要。
- 6 短時間に多くの課題を分かり易くポイントを押さえたお話で、よかったです。
- 7 制度の方向性にとっても感心があり、このような研修があることでとても分かり易く理解できた。
- 8 今後の方向性について考えることができた。 2
- 9 人材確保のための新しい手法やスキルアップしていく必要を感じた。 4
- 10 自分の判断で楽しめる職場が人材確保の重要性だと感じた。利用者に不安を与えないため専門職が必要と思う。
- 11 福祉現場が魅力ある職場であることを発信し続ける必要性と、またそれができる職場でなければならない。
- 12 専門性を高める必要性と研修等参加し易い職場環境が必要である。人財育成は難しいものがある。
- 13 介護人材の育成・確保について課題が多く難しかったが参考になった。
- 14 人材不足は深刻で新人の育成・継続も困難な状況だが、QOLも高めていかねばならない。医療との連携を強化し介護職も代弁できる立場を目指す。
- 15 質の高い介護のために資格も必要かもしれないが、人を支える仕事を資格の有無で別けたくない。
- 16 介護報酬の改定に向け、社会保障制度について現場スタッフも考えていかねばならない。
- 17 今以上に、専門性の高いものにしなければならない。
- 18 福祉経験のない経営者の参加が必要と感じた。
- 19 自分らしい暮らしが最後まで地域でできるよう、病院から地域へという流れを地域全体で取組む必要性を痛感。
- 20 同一地域での他業種との連携・グループ化
- 21 地域包括ケアシステムの大まかな内容が分かった

22 事業者が個々に動くのではなく、情報を共有し連携していくことの大切さ。

23 顧客満足度の充実及び多職種連携の必要性

24 新規事業を始めるときの資格要件が低すぎる(たとえば特養などの施設長)。離職率の高い事業所への改善指導や指定取消、また、その公表など厳しい措置が必要。

25 消費税増税を延長することが介護事業に大きな影響があること。

26 ますます制度が難しくなるので、これからも研修に参加したい・

27 ますます効率化が求められると思う。現在の延長線上ではダメと感じた。2

28 2時間半の研修で内容が多く、資料に目を通すだけで精一杯。後日改め勉強したい。

29 介護制度全般のこと人材のこと等内容が広すぎた。的を絞った話をしてほしかった。

30 少し私には難しすぎた。 2

3・今後の研修会で希望するテーマがあれば具体的にご記入ください。

1 人材の確保について詳しく(個人のモラル、現場の声など) 2

2 来春の制度改正について 2

3 東近江市の今後の方向性を行政から聞きたい。 2

4 介護保険に頼らない支援の取組をしている地域の事例紹介など

5 地域と医療

6 認知症に対するケアの仕方

7 経営者が先を見つめた経営ができるような研修

8 先進施設・事業所の取組報告

9 キャリアパス

10 質のわるい事業所などを取り残さない取組

11 リクルートの角野さんの話

4・その他、当協議会等に対する要望・意見などご自由にご記入ください。

1 最近の講演はどれも現場に通じるもので魅力を感じています。これからもよろしく。

2 勉強になりました。ありがとうございました